

平成13年5月9日
日 本 銀 行
情 報 サ ー ビ ス 局

「生活意識に関するアンケート調査」(第12回)の結果

(はじめに)

日本銀行では、政策・業務運営の参考とするため、本店や支店を通じた広報活動のなかで、国民各層の意見や要望を幅広く聴取するよう努めていますが、その1つの手法として、平成5年以降、全国20歳以上の男女個人4,000人を対象に「生活意識に関するアンケート調査」を実施しています。この調査は、日本銀行が四半期ごとに行っている「企業短期経済観測調査(短観)」のような統計指標としての調査ではなく、生活者の意識や行動を大まかに窺う一種の世論調査です。

(調査要綱)

- ・調査実施期間...平成13年3月16日(金)~3月26日(月)
- ・調査対象...全国の20歳以上の男女個人
- ・標本数...4,000人(有効回答者数3,173人<有効回答率79.3%>)
- ・抽出方法...層化2段無作為抽出法
- ・調査方法...設問票によるアンケート調査(訪問留置法)

(調査結果の概要)

構成比は小数第2位四捨五入。このため、図表での構成比の合計が100にならないことがある。

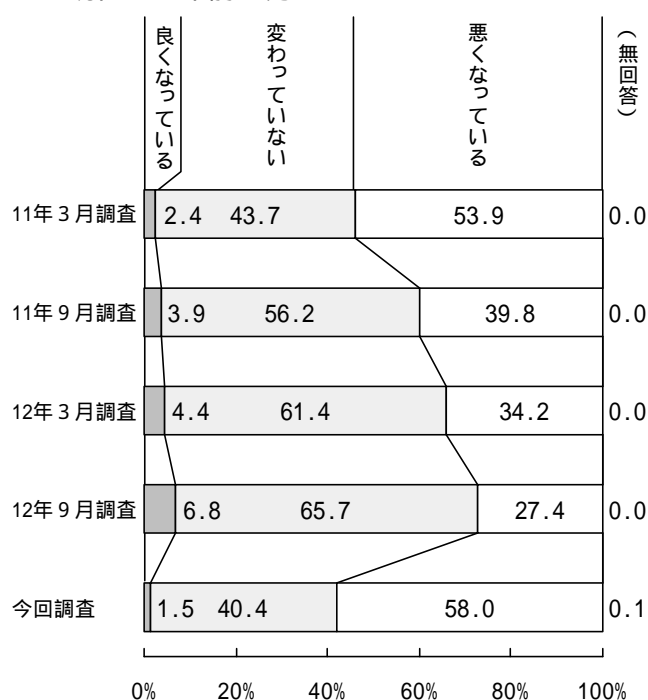
1. 景況感

足許の景況感（1年前対比）については、「悪くなっている」が大幅に増加し、D.I.（「良くなっている」 - 「悪くなっている」）は大幅に悪化（前回比 35.9%ポイント）。

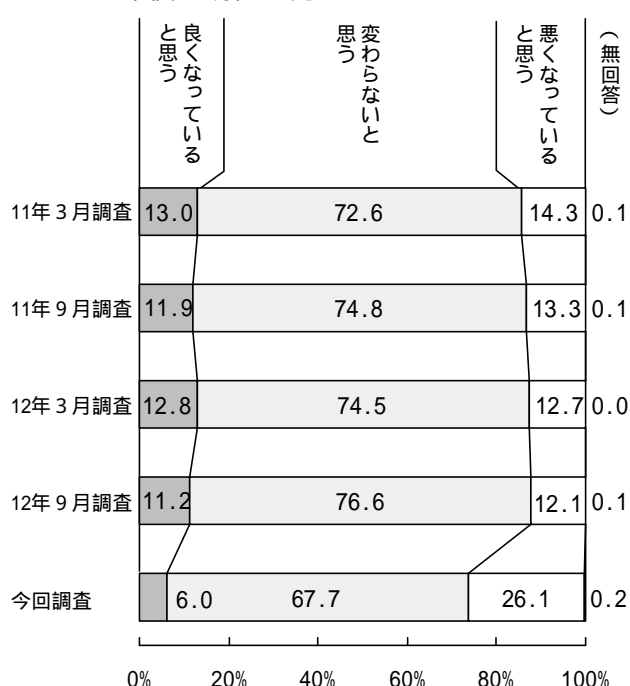
また、1年後までの先行きに関するD.I.（「良くなっていると思う」 - 「悪くなっていると思う」）も大幅に悪化（前回比 19.2%ポイント）。

(図表1) 景況感 (%) [問2、5]

< 現在と1年前を比べて >



< 1年後と現在を比べて >



< D.I.の推移 >

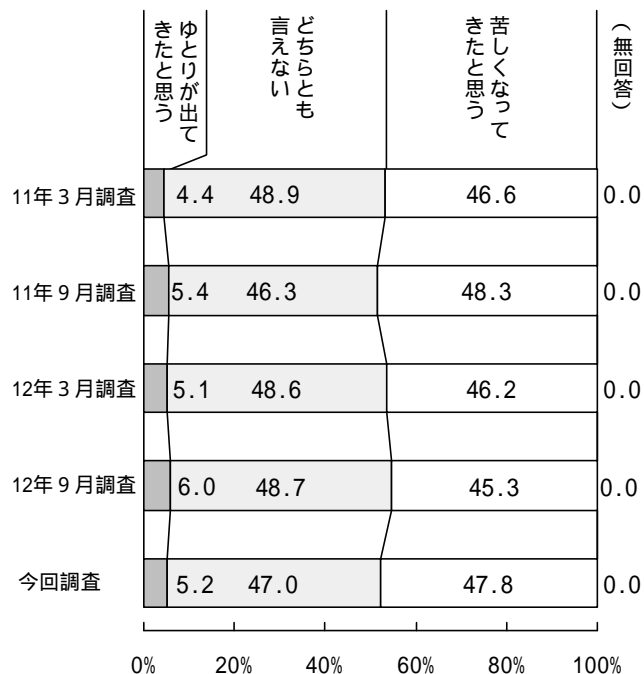
	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	12年9月調査	今回調査
現在 (前回比)	-23.0	-30.2 (-7.2)	-70.5 (-40.3)	-77.8 (-7.3)	-51.5 (+26.3)	-35.9 (+15.6)	-29.8 (+6.1)	-20.6 (+9.2)	-56.5 (-35.9)
1年後の予想 (前回比)	-2.2	-24.8 (-22.6)	-21.6 (+3.2)	-20.1 (+1.5)	-1.3 (+18.8)	-1.4 (-0.1)	0.2 (+1.6)	-0.9 (-1.1)	-20.1 (-19.2)

2.暮らし向き、消費意識、金融資産運用

(1)現在の暮らし向き

暮らし向き(1年前対比)については、「苦しくなってきた」が増加し、暮らし向きD.I. (「ゆとりが出てきた」 - 「苦しくなってきた」)は悪化(前回比 3.2%ポイント)。

(図表2)現在の暮らし向き(%)〔問18〕



< D.I.の推移 >

	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	12年9月調査	今回調査
暮らし向きD.I. (前回比)	-42.5 (-6.9)	-49.4 (+7.2)	-42.2 (-0.7)	-42.9 (+1.8)	-41.1 (+1.7)	-39.4 (-3.2)	-42.6
景況感D.I. (前回比)	-70.5 (-40.3)	-77.8 (-7.3)	-51.5 (+26.3)	-35.9 (+15.6)	-29.8 (+6.1)	-20.6 (+9.2)	-56.5 (-35.9)

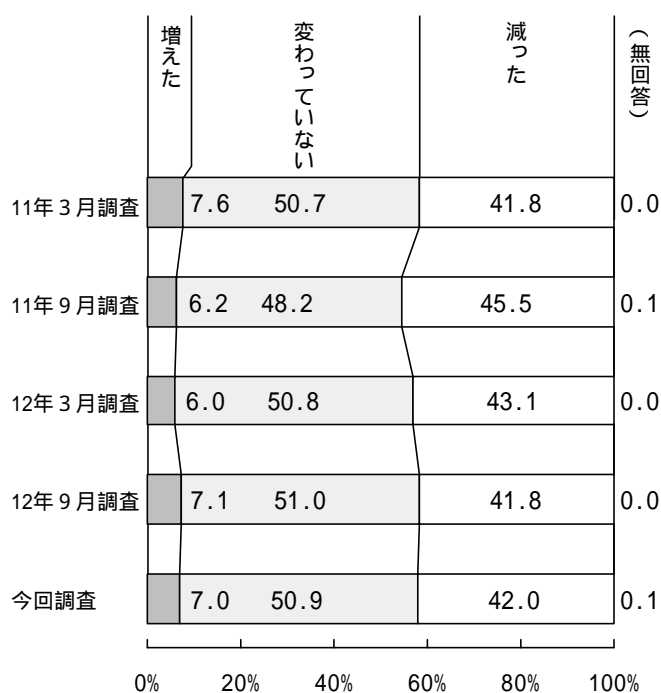
(2) 収入、雇用環境

収入D.I. (1年前対比、「増えた」 - 「減った」) はほぼ横這い (前回比 0.3%ポイント)。

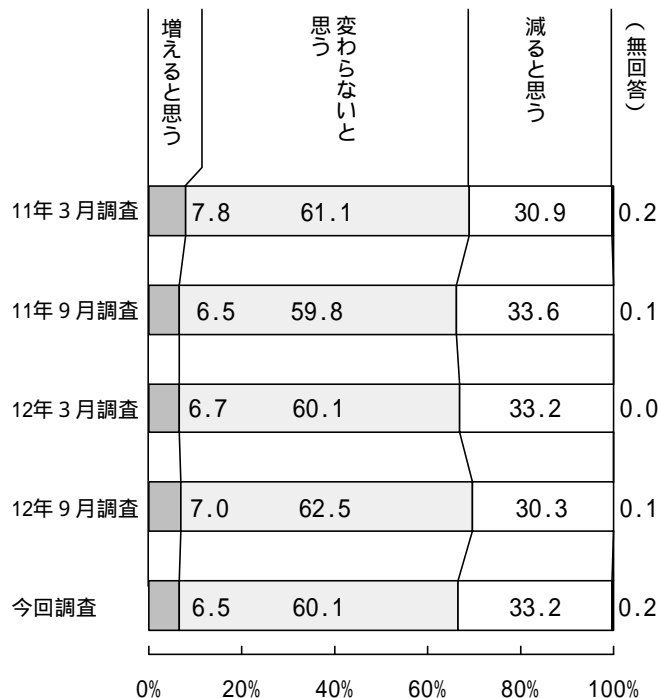
一方、1年後までの先行きに関するD.I. (「増えると思う」 - 「減ると思う」) は悪化 (前回比 3.4%ポイント)。

(図表 3) 収入 (%) [問 7、8]

< 現在と1年前を比べて >



< 1年後と現在を比べて >



< D.I. の推移 >

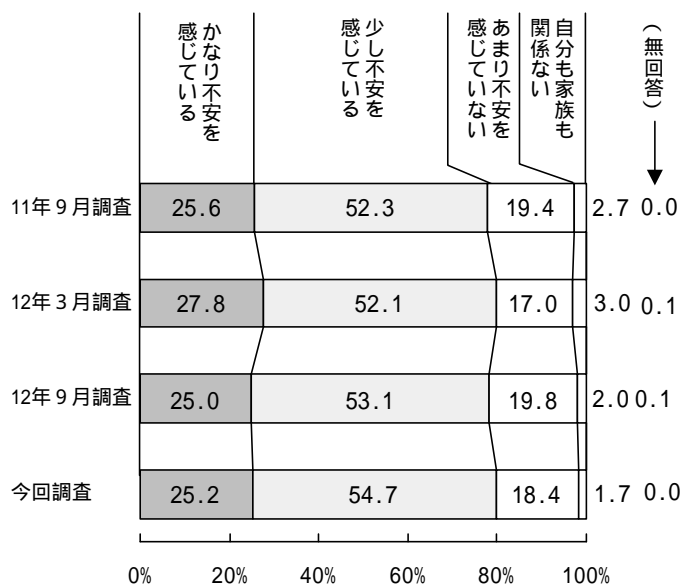
	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	12年9月調査	今回調査
現在	-11.9	-10.0	-22.8	-37.0	-34.2	-39.3	-37.1	-34.7	-35.0
(前回比)	(-2.3)	(+1.9)	(-12.8)	(-14.2)	(+2.8)	(-5.1)	(+2.2)	(+2.4)	(-0.3)
1年後の予想		-7.6	-21.0	-29.8	-23.1	-27.1	-26.5	-23.3	-26.7
(前回比)			(-13.4)	(-8.8)	(+6.7)	(-4.0)	(+0.6)	(+3.2)	(-3.4)

(2) 収入、雇用環境 (続き)

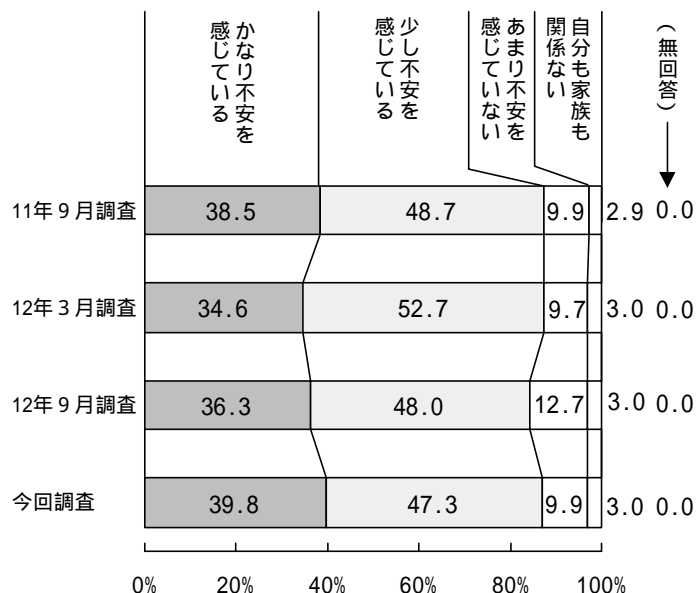
勤労者の中で勤め先の雇用・処遇について不安を感じている^(注)人は 79.9%、自営業者の中で自分の事業について不安を感じている人は 87.1%と、引続き高止まっており、前回比でもともに若干増加。

(注)『不安を感じている』は、「かなり不安を感じている」と「少し不安を感じている」の合計。

(図表 4) 勤め先での雇用・処遇についての不安 (%、勤労者) [問 22]



(図表 5) 自分の事業についての不安 (%、自営業者) [問 20]



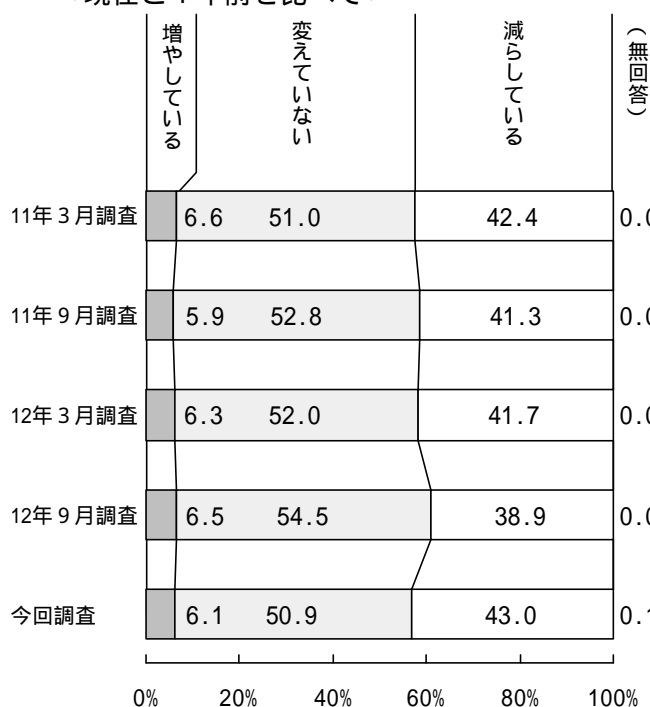
(3) 支出

支出(1 年前対比) については、「減らしている」が増加し、支出 D . I . (「増やしている」 - 「減らしている」) は悪化 (前回比 4.5% ポイント) 。

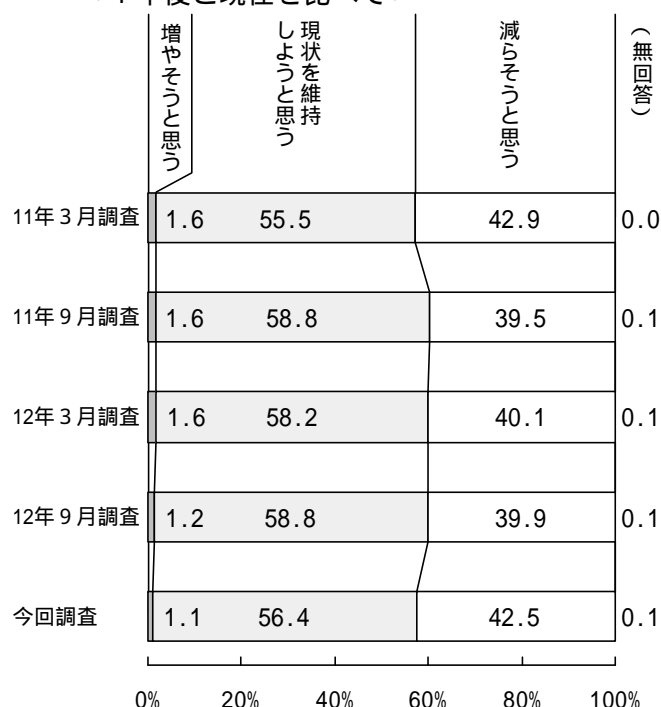
また、1 年後までの先行きに関する D . I . (「増やそうと思う」 - 「減らそうと思う」) も悪化 (前回比 2.8% ポイント) 。

(図表 6) 支出 (%) [問 9、11]

< 現在と 1 年前を比べて >



< 1 年後と現在を比べて >



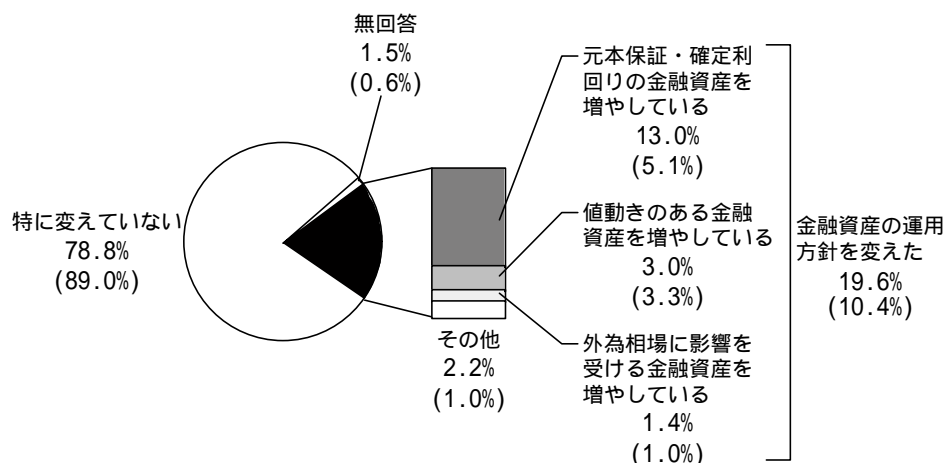
< D . I . の推移 >

	8年3月調査	9年3月調査	10年3月調査	10年11月調査	11年3月調査	11年9月調査	12年3月調査	12年9月調査	今回調査
現在 (前回比)	-38.4	-16.7 (+21.7)	-34.7 (-18.0)	-36.0 (-1.3)	-35.8 (+0.2)	-35.4 (+0.4)	-35.4 (±0.0)	-32.4 (+3.0)	-36.9 (-4.5)
1年後の予想 (前回比)	-49.7	-38.6 (+11.1)	-40.9 (-2.3)	-43.6 (-2.7)	-41.3 (+2.3)	-37.8 (+3.5)	-38.5 (-0.7)	-38.6 (-0.1)	-41.4 (-2.8)
景況感 D . I . (前回比)	-23.0	-30.2 (-7.2)	-70.5 (-40.3)	-77.8 (-7.3)	-51.5 (+26.3)	-35.9 (+15.6)	-29.8 (+6.1)	-20.6 (+9.2)	-56.5 (-35.9)

(4) 金融資産運用方針の変更

「最近、金融資産の運用方針を変更した」という人が、12年3月調査比+9.2%ポイント増加。変更の具体的な内容としては、「元本保証・確定利回りの金融資産を増やしている」が、同+7.9%ポイント増加。

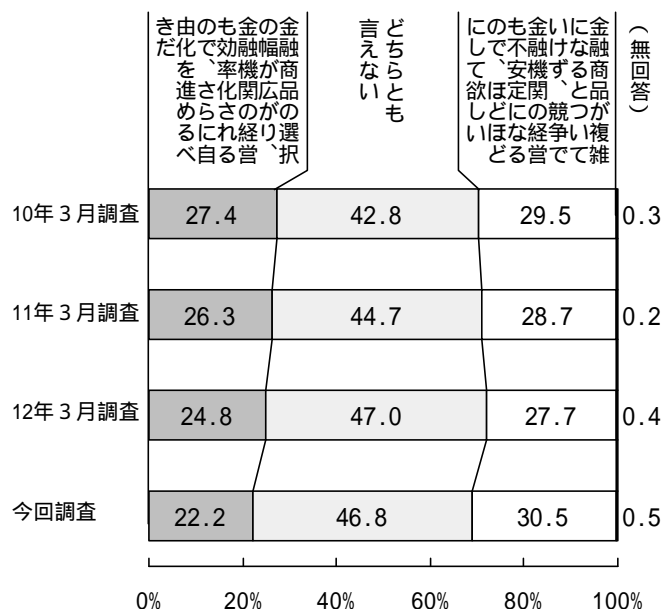
(図表 7) 金融資産運用方針の変更 (%) [問 27] カッコ内は12年3月調査。



(5) 金融商品における選択幅拡大の受け止め方

どちらかと言えば「金融商品の選択の幅が広がり、金融機関の経営も効率化されるので、さらに自由化を進めるべきだ」と思う人は、年々減少している。

(図表 8) 金融商品における選択幅拡大の受け止め方 (%) [問 33(1)]

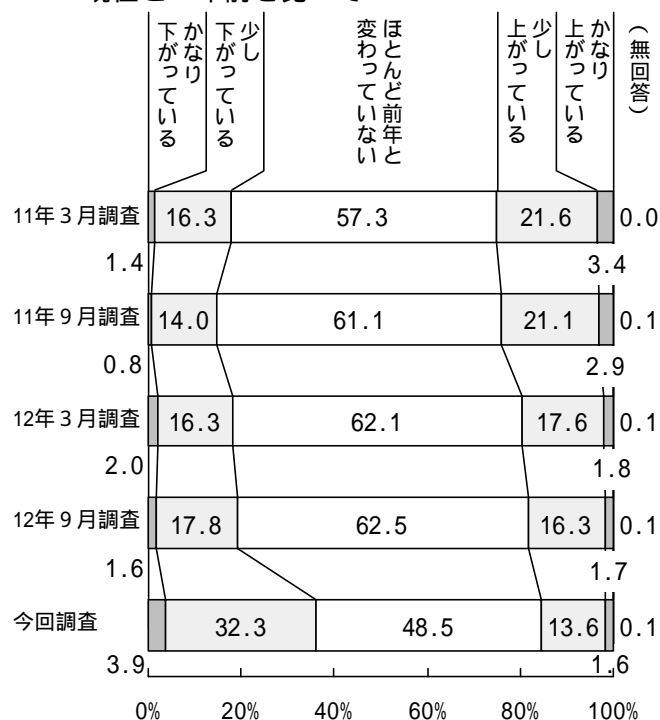


3. 物価騰落に対する実感

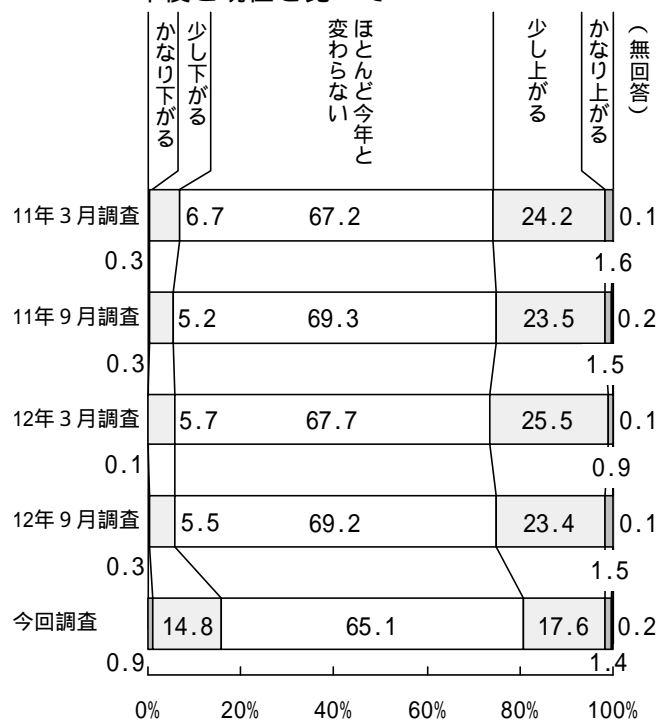
足許の物価の騰落に対する実感（１年前対比）は、「かなり下がっている」（前回比＋2.3%ポイント）、「少し下がっている」（同＋14.5%ポイント）が増加。１年後までの変化についても、「かなり下がる」（同＋0.6%ポイント）、「少し下がる」（同＋9.3%ポイント）が増加。

（図表９）物価騰落に対する実感（％）〔問 14、16〕

< 現在と１年前を比べて >



< １年後と現在を比べて >



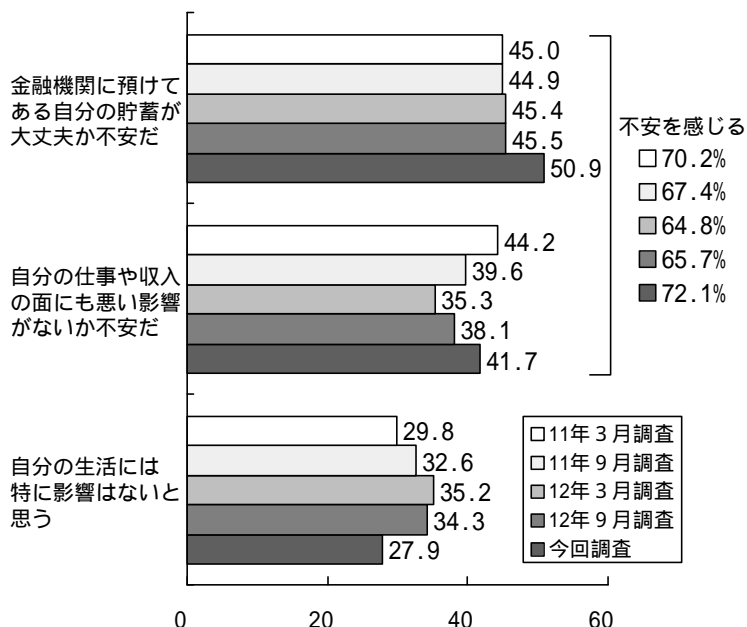
4. 金融

(1) 金融機関破綻に関する受け止め方

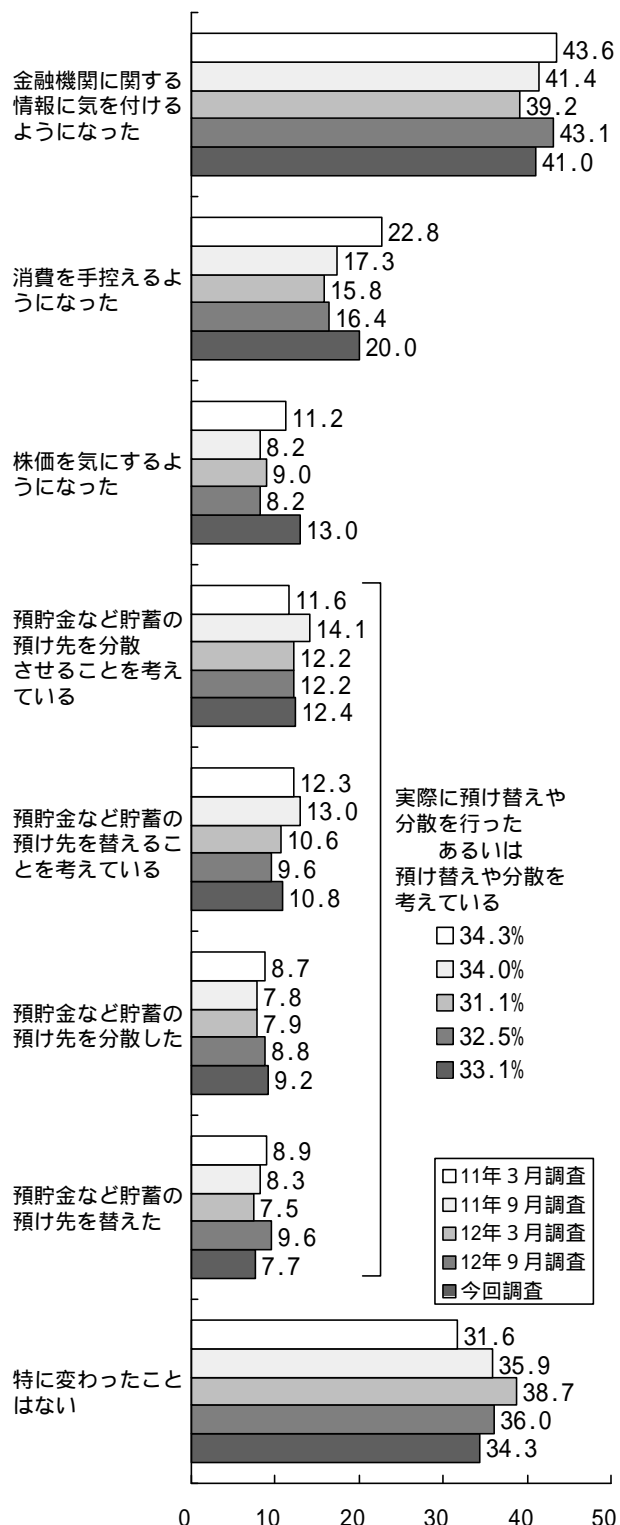
金融機関の破綻に関しては、「不安を感じる」が前回比+6.4%ポイント増加。

また、金融不安・金融機関破綻のニュースを聞いて、「消費を手控えるようになった」(同+3.6%ポイント)、「株価を気にするようになった」(同+4.8%ポイント)とする人が増加。「実際に預け替えや分散を行った、あるいは今後預け替えや分散を考えている」とする人は、引続き約3割存在。

(図表10) 金融機関の経営破綻に関する受け止め方
(%、2つまでの複数回答)〔問29〕



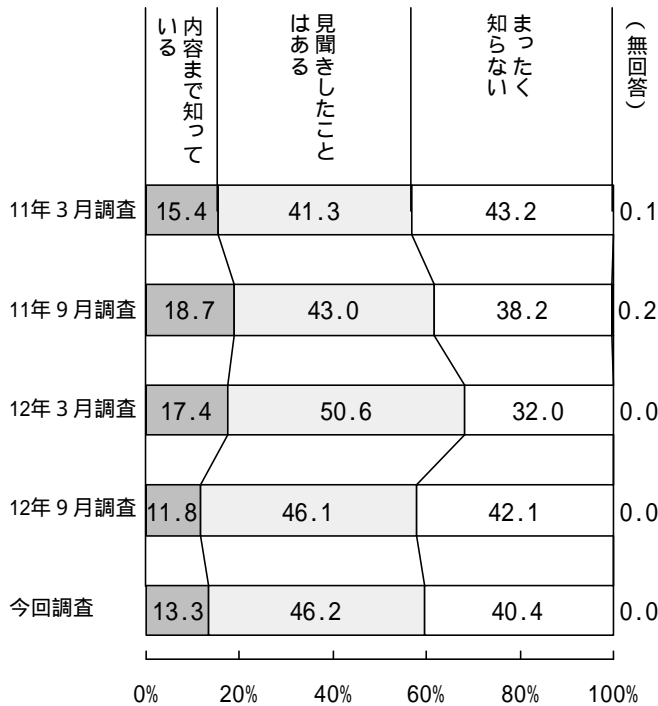
(図表11) 金融不安・金融機関破綻報道による行動や意識の変化(%、複数回答)〔問30〕



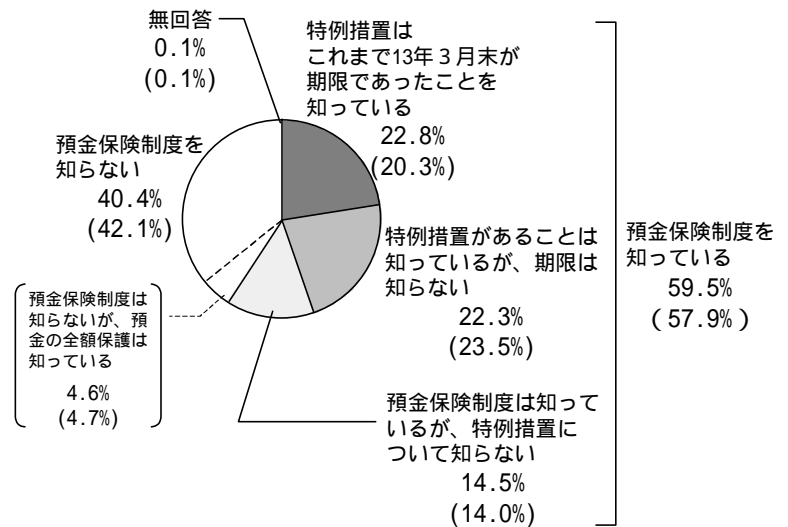
(2) 預金保険制度の認知度

預金保険制度に関する認知度は、全般的に前回比増加。

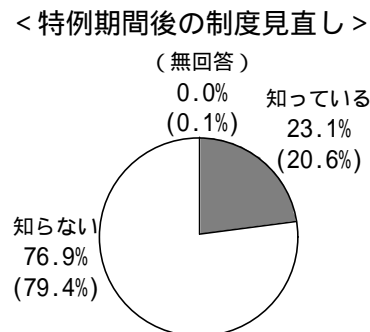
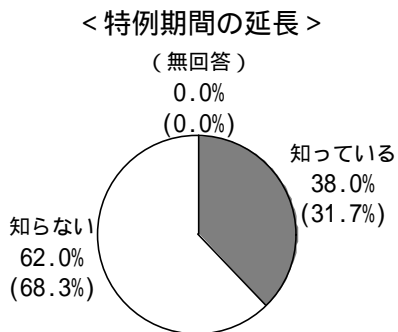
(図表 1 2) 預金保険制度の認知度 (%)
〔 問 31 〕



(図表 1 3) 特例措置とその期限の認知 (%)〔 問 32、32-1 〕
かっこ内は、12 年 9 月調査。



(図表 1 4) 預金保険法改正の認知 (特例措置を知っている人、 %)〔 問 32-2、32-3 〕
かっこ内は、12 年 9 月調査。



(調査結果)

生活意識に関するアンケート調査(第12回)

N (Number of cases) は、当該質問における回答対象者数。
選択肢ごとに付記した太文字の数値は、当該質問における回答対象者数を
100 としたときの各選択肢の回答比率(単位%、小数第2位四捨五入^(注))。
NA (Not Available) は、当該質問における無回答者の比率。

(注) 四捨五入の関係から、単数回答項目についても、その回答比率の合計は必ずしも 100 にはならない。

問1. 現在、関心を持っている経済問題は何ですか。(は3つまで)

< N = 3,173 >

1 景気	72.5	7 金融システム問題	7.8
2 雇用、収入	35.5	8 財政、税金	27.9
3 物価	28.3	9 高齢化、少子化	42.3
4 地価	4.8	10 規制緩和	4.5
5 株価	12.3	11 産業空洞化、国際競争力	5.9
6 金利	24.0	12 その他(具体的に)	0.9
(NA 0.6)			

問2. 1年前と比べて、最近の景気はどう変わったと思いますか。(は1つ)

< N = 3,173 >

1 良くなっていると思う 1.5	2 変わらないと思う 40.4	3 悪くなっていると思う 58.0
(NA 0.1)		

問3. そうお考えになるのは、主にどのようなことからですか。(は2つまで)

< N = 3,173 >

1 マスコミを通じて	38.9	5 商店街、盛り場などの混み具合 を見て	26.4
2 景気関連指標、経済統計を見て	18.5	6 なんとなく漠然と	4.7
3 勤め先や自分の店の経営状況 から	38.6	7 その他(具体的に)	2.0
4 自分や家族の収入の状況から	32.7	(NA 0.1)	

(問2で「3 悪くなっていると思う」と答えた方にお聞きします)

問4. 景気に関して、次にあげる中であなたの実感に近いのはどれですか。(はいくつでも)

< N = 1,841 >

1 企業の努力などにより、景気は時間が経てばいずれ良くなると思う	15.7
2 不景気になっても、経済や社会の構造を改革するためならやむをえないと思う	23.7
3 不景気だとは言っても、日本の国は豊かになっており、自分の暮らし向きについて 言えば生活に困るというほど深刻ではないと思う	25.5
4 不景気はこれまで経験したことがないくらい深刻であり、企業の自助努力などでは 対応に限界があると思う	56.8
5 その他(具体的に)	6.4
(NA 1.1)	

(全員にお聞きします)

問 5 . 1 年後の景気は、現在と比べてどうなるとお考えですか。(1 つ)

< N = 3,173 >

1	2	3
良くなっていると思う	変わらないと思う	悪くなっていると思う
6.0	67.7	26.1
(NA 0.2)		

問 6 . 現在の金利水準に関して、どのようにお考えになりますか。(2 つまで)

< N = 3,173 >

1	企業の活動が活発になり、景気が良くなることを期待している	40.2
2	現在の金利水準でも、景気が良くなることは期待できない	49.8
3	預金などから受け取る利子が少ないのがつらい	46.4
4	受け取る利子は少ないが、物価が安定しており、元本が目減りしないので大きな不満はない	7.0
5	住宅ローンなどの借入れをしようと考えている (あるいは、既にしている) ので金利負担が小さいのは、助かる	10.8
6	その他 (具体的に)	1.5
(NA 0.4)		

問 7 . 1 年前と比べて、あなた (またはご家族) の収入はどうなりましたか。(1 つ)

< N = 3,173 >

1	2	3
増えた	変わらない	減った
7.0	50.9	42.0
(NA 0.1)		

問 8 . 1 年後のあなた (またはご家族) の収入は、現在と比べてどうなるとお考えですか。(1 つ)

< N = 3,173 >

1	2	3
増えると思う	変わらないと思う	減ると思う
6.5	60.1	33.2
(NA 0.2)		

問9．1年前と比べて、あなた（またはご家族）の支出をどのようにしていますか。（ は1つ）

< N = 3,173 >

1
減らしている
43.0

2
変わらない
50.9

3
増やしている
6.1 (NA 0.1)

(問10へ)

(問9で 1 と答えた方にお聞きします)

問9-1a．支出を減らしているのはなぜですか。

< N = 1,363 > (はいくつでも)

- | | | |
|---|-------------------------------------|------|
| 1 | 不景気やリストラなどのために収入が頭打ちになったり減ったりしているから | 42.0 |
| 2 | 将来の仕事や収入に不安があるから | 63.8 |
| 3 | 今後は年金や社会保険の給付が少なくなるのではないかと不安から | 58.0 |
| 4 | 将来、増税や社会保障負担の引き上げが行われるのではないかと不安から | 37.9 |
| 5 | 住宅ローンを抱える一方で、購入した家などの不動産が値下がりしたから | 6.8 |
| 6 | 購入した株式や債券などの金融資産が値下がりしたから | 6.2 |
| 7 | 欲しい商品やサービスがあまりないから | 8.7 |
| 8 | たまたま大きな支出項目がなかったから | 5.4 |
| 9 | なんとなく | 1.2 |

(NA 0.1)

(問9で 3 と答えた方にお聞きします)

問9-1b．支出を増やしているのはなぜですか。

< N = 193 > (はいくつでも)

- | | | |
|---|---------------------------|------|
| 1 | 収入が増えているから | 15.0 |
| 2 | 将来、収入が増えると見込まれるから | 2.6 |
| 3 | 減税等に伴い、家計の負担が減少したから | 1.6 |
| 4 | 今後、年金や社会保険の改善・充実等が見込まれるから | 1.0 |
| 5 | 購入した家などの不動産が値上がりしたから | 2.1 |
| 6 | 購入した株式や債券などの金融資産が値上がりしたから | 1.0 |
| 7 | 欲しい商品やサービスがあるから | 26.9 |
| 8 | たまたま大きな支出項目があったから | 72.5 |
| 9 | なんとなく | 3.6 |

(NA 0.0)

(全員にお聞きします)

問10．問9の支出を、(1)生活費や教育費など日常的な支出（生活していくためのお金）と、(2)趣味やレジャーなど選択的な支出（(1)以外のお金）の2つに分けてみると、どうですか。(1)と(2)それぞれについてお答えください。（ はそれぞれ1つ）

< N = 3,173 >

		{ 1 }	{ 2 }	{ 3 }	{ 4 }	{ 5 }
		切り詰めている	なんとなく減らしている	変えていない	やむなく増えている	増やしている
(1)	生活費や教育費など日常的な支出（生活していくためのお金）	24.8	28.7	33.3	12.2	0.9
(2)	趣味やレジャーなど選択的な支出（(1)以外のお金）	33.1	33.8	27.3	3.9	1.8

(1)・・・ (NA 0.1)

(2)・・・ (NA 0.1)

問11．今後1年間の支出をどのようにしようと考えていますか。(は1つ)

< N = 3,173 >

1	2	3	
減らそうと思う	現状を維持しようと思う	増やそうと思う	
42.5	56.4	1.1	(NA 0.1)

問12．あなたは、以下のどの項目が実現すれば支出を増やすと思いますか。(はいくつでも)

< N = 3,173 >

1	一層の所得税減税	32.7
2	消費税率の引き下げ	40.1
3	住宅ローン、教育ローンなどがある人を対象とした政策減税	14.2
4	雇用や収入の不安の解消	46.7
5	金融システム不安の解消	22.0
6	年金改革や財政赤字などに対する指針を示し、国民負担の将来像を明確化する	40.2
7	その他(具体的に)	2.2
8	支出を増やすつもりはない	13.0
(NA 0.2)		

問13．支出について今のあなたの考え方に特にあてはまるものはどれですか。(は2つまで)

< N = 3,173 >

1	基本的には、収入が増えれば支出も増えると思う	63.1
2	現在の収入よりも将来の不安があるかないかによって、支出は変わると思う	49.2
3	住宅などの不動産を持っているので、こうした資産の値上がりや値下がりによって、支出は変わると思う	3.6
4	株式や投資信託などを持っているので、株価の値上がりや値下がりによって、支出は変わると思う	4.6
5	税金や社会保険料によっても手取り収入は変わるので、支出はこれらの影響も受けると思う	31.7
6	買いたいと思わせるような魅力的な商品やサービスがあるかどうかで支出は変わると思う	13.4
7	似たような新商品が次々に登場したり、短期間で価格が大きく変わったりすると、買い時の判断が影響を受けるから、支出は変わると思う	4.6
(NA 0.4)		

問14．物価についてお聞きます。

1年前と比べて、現在の物価をどのように感じていますか。(は1つ)

< N = 3,173 >

1	2	3	4	5	
かなり下がっている	少し下がっている	ほとんど前年と変わっていない	少し上がっている	かなり上がっている	
3.9	32.3	48.5	13.6	1.6	(NA 0.1)

問15．あなたは、問14で物価を考えた際に、主にどのようなものの値段をイメージしましたか。

< N = 3,173 >

(は3つまで)

1	食料品の値段	73.9	6	住宅の建設・修繕費や家賃	10.5
2	日用品の値段	58.5	7	旅行やレジャーの値段	11.6
3	電気製品、自動車などの耐久消費財の値段	23.7	8	病院の診察費や薬の値段	16.5
4	交通機関の運賃	9.9	9	学校や教育サービスの値段	4.3
5	電気、ガス、水道料金等の公共料金	26.4	10	その他(具体的に)	1.4

(NA 0.3)

問16．1年後の物価は、現在と比べるとどうなると思いますか。(は1つ)

< N = 3,173 >

1	2	3	4	5
かなり下がる	少し下がる	ほとんど今年と変わらない	少し上がる	かなり上がる
0.9	14.8	65.1	17.6	1.4
				(NA 0.2)

問17．今後の地価について、どのようなイメージを持っていますか。(は1つ)

< N = 3,173 >

1	以前と比べて随分下がったので、そろそろ上昇すると思う	6.1
2	現状程度が適切な水準であり、しばらくはこの程度だと思う	39.1
3	下がったと言っても、依然として高いので、まだ下がると思う	24.8
4	わからない	29.9
		(NA 0.0)

問18．あなたは、ご自分の暮らし向きについて、1年前と比較してどのようにお感じになっていますか。(は1つ)

< N = 3,173 >

1	2	3
どちらかと言えば ゆとりが出てきたと思う	どちらかと言えば 苦しくなってきたと思う	どちらとも言えない
5.2	47.8	47.0
		(NA 0.0)
		(問19へ)

(問18で 1 と答えた方にお聞きします)

問18-1a．その理由は次のうちのどれですか。	
< N = 165 > (はいくつでも)	
1	給与等の定期的な収入が増えたから 56.4
2	利子等のその他収入が増えたから 4.8
3	土地・住宅等の不動産の売却による収入があったから 2.4
4	物価が下がっている、あるいは、安定しているから 15.2
5	扶養家族が減ったから 29.7
6	その他(具体的に) 8.5
	(NA 0.0)

(問18で 2 と答えた方にお聞きします)

問18-1b．その理由は次のうちのどれですか。	
< N = 1,518 > (はいくつでも)	
1	給与等の定期的な収入が減ったから 69.0
2	利子等のその他収入が減ったから 26.1
3	土地・住宅等の不動産の購入費用がかさんだから 6.1
4	物価が上がっているから 15.8
5	扶養家族が増えたから 10.5
6	その他(具体的に) 15.5
	(NA 0.1)

(全員にお聞きします)

問19. あなたは、日本の経済の成長力について、どうお考えですか。(は1つ)

< N = 3,173 >

1
一時的な振れはあっても、
長い目で見れば、なお成長
が続けられると思う

14.7

2
長い目で見ればあまり成長
は期待できないと思う

56.6

3
どちらとも言えない

28.7

(NA 0.0)
(問20へ)

(問19で 1 と答えた方にお聞きします)

問19-1a. なお成長が続けられる理由として考
えられる事柄はどれですか。

< N = 466 > (は2つまで)

- | | | |
|---|-----------------|------|
| 1 | 日本が持つ製造技術の優位性 | 67.2 |
| 2 | 日本人の創造力や独自性 | 19.3 |
| 3 | 日本人の勤勉さ | 26.6 |
| 4 | 規制緩和や構造改革の進展 | 21.5 |
| 5 | 女性や高齢者の労働力化の進展 | 12.7 |
| 6 | コンピューターなど情報化の進展 | 38.4 |
| 7 | その他(具体的に) | 1.1 |

(NA 0.0)

(問19で 2 と答えた方にお聞きします)

問19-1b. あまり成長を期待できない理由とし
て考えられる事柄はどれですか。

< N = 1,796 > (は3つまで)

- | | | |
|---|----------------------|------|
| 1 | 日本が持つ製造技術の優位性の
後退 | 21.7 |
| 2 | 日本人の創造力や独自性のなさ | 15.4 |
| 3 | 日本人の勤勉さの低下 | 26.2 |
| 4 | 規制緩和や構造改革の遅れ | 32.6 |
| 5 | 高齢化・少子化 | 54.3 |
| 6 | 環境・エネルギー問題 | 15.9 |
| 7 | 金融システム問題 | 31.9 |
| 8 | 財政問題の深刻化 | 56.3 |
| 9 | その他(具体的に) | 4.5 |

(NA 0.1)

(全員にお聞きします)

問20. あなた(またはご家族)の勤め先の経営、あるいは、あなた(またはご家族)が営んでいる事
業に不安を感じていますか。(は1つ)

< N = 3,173 >

1
あまり不安を
感じていない
15.4

2
少し不安を
感じている
49.5

3
かなり不安を
感じている
25.6

4
自分も家族も
関係ない
9.4

(NA 0.2)

問21．あなた（またはご家族）のところでは、給与や人員の抑制・削減といった合理化、リストラがここ1年くらいの間に行われましたか、あるいは今後予定されていますか。（ は1つ）

< N = 3,173 >

1	2	3	4
行われた	まだ行われていないが、 今後行われる予定である	行われていないし、今後 行われる予定もないと思う	わからない
29.4	12.9	24.2	33.2 (NA 0.3)
↓		↓ (問22へ)	

（問21で 1 または 2 と答えた方にお聞きします）

問21-1．具体的には、どのようなことが実施されましたか、あるいは予定されていますか。（ はいくつでも）

< N = 1,341 >

1	時間外労働の削減	38.3
2	給与カットや賃金制度の見直し	56.7
3	新卒採用の抑制	27.4
4	出向や早期退職勧奨などによる人員の削減	32.1
5	ポストの削減や組織の改革	22.7
6	人事、資格制度の見直し	17.4
7	その他（具体的に ）	2.9
8	予定されているが、具体的にはわからない	5.1

(NA 0.4)

（全員にお聞きします）

問22．あなた（またはご家族）の勤め先での雇用・処遇（給与、昇格、福利厚生など）に不安を感じていますか。（ は1つ）

< N = 3,173 >

1	2	3	4
あまり不安を感じていない	少し不安を感じている	かなり不安を感じている	自分も家族も関係ない
16.1	48.1	22.9	12.6 (NA 0.3)

問23．あなたのご家族の中で、就職・再就職を考えている方は（あなた自身を含めて）いらっしゃるかどうか。（ は1つ）

< N = 3,173 >

1	2
いる	いない
32.4	67.5 ↓ (問24へ)
↓	(NA 0.1)

（問23で 1 と答えた方にお聞きします）

問23-1．あなた（またはその方）の就職・再就職に不安を感じていますか。（ は1つ）

< N = 1,027 >

1	あまり不安を感じていない	6.7
2	少し不安を感じている	40.3
3	かなり不安を感じている	53.0

(NA 0.0)

(全員にお聞きします)

問24. マイホームなどの購入・買い替えを具体的に計画していますか。(は1つ)

< N = 3,173 >

1	2	3	4
いまのところ購入・ 買い替えの計画はない	はじめてマイホームを 購入する計画がある	買い替えの計画がある	セカンドハウスを購入 する計画がある
92.1	3.2	3.8	0.8 (NA 0.1)

(問24で 1 と答えた方にお聞きします)

問24-1a. どのような条件が満たされれば購入・
買い替えをしてもよいと思いますか。

< N = 2,922 > (はいいくつでも)

1	住宅価格、地価が低下すれば	16.1
2	住宅ローン金利が低下すれば	9.7
3	雇用・収入などの不安がなくな れば	23.6
4	一層の税制面の支援策があれば	8.7
5	自分の考える条件(広さや環境、 通勤時間など)にあった物件があ れば	10.9
6	その他(具体的に)	5.8
7	どうしても購入や買い替えは考 えられない	56.9

(NA 0.4)

(問24で 2 ~ 4 のいずれかを
答えた方にお聞きします)

問24-1b. いまごろ購入・買い替えをしようと
計画していますか。(は1つ)

< N = 248 >

1	今年中	23.4
2	来年中	13.3
3	再来年以降	10.9
4	時期についてはまだ考えてい ない	52.0

問24-2b. どのような理由から、購入・買い替
えの計画を立てましたか。

< N = 248 > (はいいくつでも)

1	住宅価格、地価が低下したから	16.9
2	住宅ローン金利が低下したから	23.0
3	雇用・収入などの不安がなくなっ たから	8.5
4	税制面の支援策があったから	8.5
5	自分の考える条件(広さや環境、 通勤時間など)にあった物件があ ったから	29.4
6	その他(具体的に)	37.9

問24-1b... (NA 0.4)

問24-2b... (NA 3.2)

(全員にお聞きします)

問25. あなたには、住宅ローンや消費者ローンなどの借入金がありますか。(は1つ)

< N = 3,173 >

1
あ る
35.4

2
な い
64.5

(NA 0.1)

(問26へ)

(問25で 1 と答えた方にお聞きします)

問25-1. あなたは、最近、借入れの返済について何かしましたか。

< N = 1,124 >

(は1つ)

- | | | |
|---|----------------------|------|
| 1 | 今後1回当たりの返済額が減るようにした | 9.9 |
| 2 | 今後1回当たりの返済額が増えるようにした | 0.5 |
| 3 | 返済期間を短縮するようにした | 11.2 |
| 4 | 返済期間を延長するようにした | 4.2 |
| 5 | 特に何もしていない | 74.1 |

(NA 0.1)

(問26へ)

(問25-1で 1 ~ 4 のいずれかを答えた方にお聞きします)

問25-2. 具体的にはどうしましたか。(はいいくつでも)

< N = 290 >

- | | | |
|---|------------|------|
| 1 | 借り換えを行った | 40.7 |
| 2 | 繰上げ返済を行った | 30.0 |
| 3 | 返済方法を変えた | 30.7 |
| 4 | その他(具体的に) | 3.4 |

問25-3. また、そのようにしたのは、なぜですか。

< N = 290 >

(はいいくつでも)

- | | | |
|---|-----------------------------------|------|
| 1 | 減税や株価の上昇などで手元の資金が増えたから | 2.8 |
| 2 | 将来の収入が不安だから | 37.6 |
| 3 | 現在の収入が減って、毎回の返済負担が重くなったから | 30.0 |
| 4 | 低金利だから | 43.4 |
| 5 | 当初の返済方法の取り決めにしたがって、毎回の返済額が急に増えたから | 7.2 |
| 6 | 早く返済することを催促されたから | 3.8 |
| 7 | その他(具体的に) | 10.0 |

問25-2 ... (NA 1.7)

問25-3 ... (NA 1.7)

(全員にお聞きします)

問26. あなたの家計全体のバランスについて、以下の中から最も近い感じのものをお選びください。

< N = 3,173 >

(は1つ)

- | | | |
|---|---|------|
| 1 | 住宅ローン等の借入れはほとんどなく、一方で資産(持家もしくは金融資産等)はそこそこあるので、資産と負債のバランスに関する不安はない | 55.9 |
| 2 | 住宅ローン等の借入れがあるものの、資産(持家もしくは金融資産等)の値下がりとはそれほど大きくないため、資産と負債のバランス面で大きな不安は抱えていない | 21.3 |
| 3 | 住宅ローン等の借入れがある一方、資産(持家もしくは金融資産等)の値下がりが激しく、資産と負債のバランスが崩れて不安を抱えている | 18.3 |

(NA 4.4)

問27．あなたは最近、どのような金融資産への運用を増やしましたか。(は1つ)

< N = 3,173 >

- | | | |
|---|--|------------|
| 1 | 預金など元本保証・確定利回りの金融資産を増やしている | 13.0 |
| 2 | 投資信託や株式など値動きのある金融資産（外貨建ての金融資産を除く）を増やしている | 3.0 |
| 3 | 外貨預金や外貨建て債券など外国為替相場の影響を受ける金融資産を増やしている | 1.4 |
| 4 | これまでと変えていない | 78.8 |
| 5 | その他（具体的に ） | 2.2 |
| | | (NA 1.5) |

問28．あなたは金融機関経営や金融システム問題にどの程度関心がありますか。(は1つ)

< N = 3,173 >

- | 1 | 2 | 3 |
|------------|------------|----------|
| 非常に関心がある | それなりに関心がある | あまり関心がない |
| 9.9 | 51.3 | 38.6 |
| (NA 0.2) | | |

問29．金融機関の経営破綻から、あなたは何をお感じになりますか。(は2つまで)

< N = 3,173 >

- | | | |
|---|-------------------------------|------------|
| 1 | 金融機関に預けてある自分の貯蓄が大丈夫かどうか不安だ | 50.9 |
| 2 | 自分の仕事や収入の面にも悪い影響が出るのではないかと不安だ | 41.7 |
| 3 | 自分の生活には特に影響はないと思う | 27.9 |
| | | (NA 0.4) |

問30．金融不安・金融機関破綻のニュースを聞いてあなたの行動はどう変わりましたか。

< N = 3,173 >

(はいくつでも)

- | | | |
|---|---------------------------|------------|
| 1 | 預貯金など貯蓄の預け先を替えた | 7.7 |
| 2 | 預貯金など貯蓄の預け先を替えることを考えている | 10.8 |
| 3 | 預貯金など貯蓄の預け先を分散した | 9.2 |
| 4 | 預貯金など貯蓄の預け先を分散させることを考えている | 12.4 |
| 5 | 金融機関に関する情報に気を付けるようになった | 41.0 |
| 6 | 消費を手控えるようになった | 20.0 |
| 7 | 株価を気にするようになった | 13.0 |
| 8 | 特に変わったことはない | 34.3 |
| | | (NA 0.1) |

問31．預金には預金者保護のために、原則として1金融機関につき、預金者1人当たり元本1,000万円とその利息に対して保険がかけられていることをご存知ですか。(は1つ)

< N = 3,173 >

- | 1 | 2 | 3 |
|------------|------------|----------|
| 内容まで知っている | 見聞きしたことはある | まったく知らない |
| 13.3 | 46.2 | 40.4 |
| (NA 0.0) | | |

問32．預金者保護のための特例として、現在、1,000万円を上回る元本部分やその利息を含めて預金の全額が保護されることをご存知ですか。(は1つ)

< N = 3,173 >

1	2
内容まで知っている	見聞きしたことはある
9.9	39.8

3
まったく知らない
50.3
↓ (NA 0.0)
(問33へ)

(問32で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問32-1．この預金者保護のための特例の期限は、これまで2001年3月末であったことをご存知ですか。(は1つ)

< N = 1,577 >

1	知っている	48.2
2	知らない	51.7

問32-2．昨年の5月、特例の期限(2001年3月末)の1年延長を含む、預金者保護のための制度改正が行われました。この制度改正についてお聞きします。
あなたは、特例の期限の1年延長について、ご存知ですか。(は1つ)

< N = 1,577 >

1	知っている	38.0
2	知らない	62.0

問32-3．また、改正にあたっては、上記の特例期限以降もできるだけペイオフを回避するなど、新たな制度運営の方針が示されましたが、あなたは、こうした方針について、ご存知ですか。(は1つ)

< N = 1,577 >

1	知っている	23.1
2	知らない	76.9

問32-1 … (NA 0.1)

問32-2 … (NA 0.0)

問32-3 … (NA 0.0)

(全員にお聞きします)

問33. 新しい金融商品が導入されたり、一般企業が金融業に参入するなどの金融における最近の動きに関して(1)～(3)の考え方がありますが、あなたの考えはそれぞれA、Bのどちらに近いですか。

< N = 3,173 >

(はそれぞれ1つ)

		〔1〕 ど ち ら か と 言 え ば	〔2〕 ど ち ら と も 言 え ない	〔3〕 ど ち ら か と 言 え ば	
	A				B
(1)	金融商品の選択の範囲が広がり、金融機関の経営も効率化されるので、さらに自由化を進めるべきだ	22.2	46.8	30.5	金融商品が複雑になるとついていけず、競争で金融機関の経営も不安定になるので、ほどほどにして欲しい
(2)	自分で選んだ金融商品や金融機関については、自分で責任を持つのは当然だ	28.2	40.4	30.8	自分で選んだ金融商品や金融機関だから自分で責任を持て、と言われても困る
(3)	金融機関は、公共的な役割を持った特殊な存在である	26.2	41.5	31.8	金融機関も一般の企業と同じで、特殊な存在ではない

(1)・・・ (NA 0.5)

(2)・・・ (NA 0.5)

(3)・・・ (NA 0.5)

問34. あなたは、公的介護保険をご存知ですか。(は1つ)

< N = 3,173 >

1	2	3	4
詳しく知っている	詳しくはないが、 どういったものかは 知っている	言葉自体は見聞きし たことがある	まったく知らない
4.8	58.6	28.9	7.8
			(NA 0.0)
			(F 1へ)

(問34で 1 または 2 と答えた方にお聞きします)

問34-1. 公的介護保険の導入により、老後の生活に対する不安はどう変わりましたか。(は1つ)

< N = 2,010 >

1	不安感がかなり減った	2.0
2	不安感がある程度減った	14.6
3	不安感是不変	55.7
4	むしろ不安感が増した	23.5
5	もともと不安感はない	4.1

問34-2. 公的介護保険の導入により、老後の生活のための貯蓄の計画は変わりましたか。(は1つ)

< N = 2,010 >

1	公的介護保険が導入されたので、老後の生活のための貯蓄を増やしていこうと考えている	19.9
2	公的介護保険が導入されたので、老後の生活のための貯蓄を減らしていこうと考えている	1.3
3	公的介護保険の導入による影響はない	28.3
4	今は様子を見ているので、わからない	50.5

問34-1・・・ (NA 0.1)

問34-2・・・ (NA 0.0)

最後に、あなたご自身のことやお宅のことについておうかがいします。

〔 立ち入ったことも含まれていますが、調査結果を分析するために使いますので、さしつかえなければお答えください。 〕

F 1 . あなたの性別は。

< N = 3,173 >

1
男
49.0

2
女
51.0

(NA 0.0)

F 2 . あなたの年齢は。(満年齢でお答えください。)

< N = 3,173 >

1
20 ~ 29歳
13.8

2
30 ~ 39歳
16.1

3
40 ~ 49歳
18.8

4
50 ~ 59歳
20.6

5
60 ~ 69歳
19.4

6
70歳以上
11.4

(NA 0.0)

F 3 . 結婚していच्छいますか。

< N = 3,173 >

1
既婚 (配偶者あり)
74.2

2
既婚 (配偶者と離別・死別)
9.5

3
未 婚
16.2

(NA 0.2)

F 4 . あなたのご職業は。(は1つ)

< N = 3,173 >

自営業・ 家族 従業員 者	{	1 農林漁業	4.0	勤 労 者	{	4 管理職	4.8	無 職 者	{	10 専業主婦	13.6
		2 商工・サービス業	10.1			5 専門技術職・教員	8.7			11 学生	1.8
		3 自由業	2.8			6 事務職	9.5			12 年金・恩給生活者	13.5
						7 労務職	10.0			13 その他無職	4.4
		8 販売・サービス職	7.6								
		9 パート勤め	9.3								
16.9		49.7		33.3							

(NA 0.1)

(F 4 で 1 ~ 10 のいずれかを答えた方にお聞きします)

F 4-1 . あなたのお仕事あるいは勤め先の業種は何ですか。パート勤めの方は、お宅の中で主として生計を支えていच्छる方の業種について、専業主婦の方は、ご主人の勤め先の業種についてお答えください。(は1つ)

< N = 2,544 >

1 農林漁業	6.3	6 金融・保険業	3.3
2 製造業	20.7	7 電気・ガス・水道業	1.6
3 卸・小売業、飲食店	13.0	8 サービス業	20.8
4 運輸・通信業	6.2	9 公務員	8.9
5 建設・不動産業	11.8	10 その他 (具体的に)	5.8

(NA 1.6)

(全員にお聞きします)

F 5 . 主としてお宅の生計を支えていらっしゃるのはあなたですか。

(夫婦で同じ程度という場合などは、「 1 はい」に をつけてください。)

< N = 3,173 >

1	2
はい	いいえ
54.6	45.3

(NA 0.0)

F 6 . あなた (および配偶者) の昨年 1 年間の収入 (税込み) は、次のどの区分に入りますか。

(ただし、退職金や土地の売却代金など一時的な収入は除いてください。) (は 1 つ)

< N = 3,173 >

1 収入はない	6.8	4 1,000万円～1,500万円未満	5.9
2 500万円未満	55.2	5 1,500万円以上	1.7
3 500万円～1,000万円未満	28.2		

(NA 2.2)

F 7 . あなた (および配偶者) は収入 (生活費) をどのようなかたちで得ていますか。

以下から、あてはまるものをお選びください。 (はいいくつでも)

< N = 3,173 >

1 給料 (賃金)	68.4	6 株式などの配当や運用益	2.1
2 事業からの収益	10.6	7 預金など貯蓄の取り崩し	6.9
3 アパートなどの不動産からの賃貸料	4.1	8 家族や国などからの援助	3.4
4 年金	27.0	9 その他 (具体的に)	0.8
5 利子収入	2.1	10 収入はない	1.6

(F 8 へ進む)
(NA 0.2)

(F 7 で 1 ～ 9 のいずれかを答えた方にお聞きします)

F 7-1 . F 7 で、あなたが おつけになったものの中で、最も金額の多いものを 1 つ選んでください。

< N = 3,114 >

(は 1 つ)

1 給料 (賃金)	65.2	6 株式などの配当や運用益	0.1
2 事業からの収益	8.5	7 預金など貯蓄の取り崩し	1.6
3 アパートなどの不動産からの賃貸料	1.7	8 家族や国などからの援助	1.5
4 年金	20.9	9 その他 (具体的に)	0.4
5 利子収入	0.0		

(NA 0.0)

(全員にお聞きします)

F 8 . あなた (および配偶者) の貯蓄残高は、次のどの区分に入りますか。事業目的のものを除いた預貯金、信託、保険、株式、債券、投信などの合計額でお答えください。なお、生命保険、損害保険、共済については掛け捨て型のものを除いてお答えください。 (は 1 つ)

< N = 3,173 >

1 貯蓄はない	15.6	4 1,000万円～2,000万円未満	10.7
2 500万円未満	44.5	5 2,000万円以上	8.7
3 500万円～1,000万円未満	15.6		

(NA 4.9)

F 9 . あなた（および配偶者）の借入残高は、次のどの区分に入りますか。（ は1つ）

（注）クレジットカードを利用したの買い物や事業目的の借入れは除きます。

< N = 3,173 >

1	借入金はない	60.4	4	1,000万円～2,000万円未満	7.4
2	500万円未満	15.9	5	2,000万円～5,000万円未満	5.9
3	500万円～1,000万円未満	6.7	6	5,000万円以上	0.7
					(NA 3.0)

F 10 . 現在一緒に住んでいるご家族の構成は。（ は1つ）

< N = 3,173 >

1	1人住まい世帯	6.1	4	親と子と孫の3世代世帯	17.5
2	夫婦だけ世帯	25.3	5	その他（具体的に	1.1
3	親と子の2世代世帯	49.9			
					(NA 0.2)

（F 10で 3 または 4 と答えた方にお聞きします）

F 10-1 . 世帯の中であなたが位置する世代は。（ は1つ）

< N = 2,138 >

1	2	3	
親世代	子世代	孫世代	
55.4	41.4	3.0	
			(NA 0.2)

（全員にお聞きします）

F 11 . あなた（またはご家族）のお住まいは、次のどれにあたりますか。複数ある場合は、あなた自身が生活の拠点としているお住まいについてお答えください。（ は1つ）

< N = 3,173 >

1	土地付き持ち家	71.6	4	借家（一戸建）	5.5
2	持ち家のマンション	5.3	5	賃貸マンション・アパート	11.5
3	借地持ち家	4.0	6	社宅、官舎、寮	2.2
					(NA 0.0)

F 12 . あなたは、マスコミの金融、株式に関する報道を熱心に見るほうですか。（ は1つ）

< N = 3,173 >

1	2	3
熱心に見る	あまり見ない	まったく見ない
25.6	61.3	13.0
(NA 0.1)		

F 13 . あなたが、日頃、様々な情報を入手するために利用している主な手段は何ですか。（ は1つ）

< N = 3,173 >

1	新聞記事	49.9	5	インターネット	2.3
2	雑誌記事	1.2	6	携帯電話サイト（5を除く）	0.3
3	テレビ・ラジオの番組	44.4	7	一般書籍	0.2
4	広告、CM	0.7	8	その他（具体的に	0.2
					(NA 0.7)